

これからの大学運営 大学、地元産業との連携

愛知太郎 東洋学園 理事長と島田昌和 文京学園 理事長が対談

愛知理事長「多様性を持つ地元産業と連携」 島田理事長「経営学部が大幅な改変に取り組む」

新型コロナウイルス感染症が2019年に発生して、大学をはじめ、教育現場ではオンライン授業を取り入れるなど、教育現場では新たな変化が起きている。ポストコロナを想定し、大学はどのような意識で改革、取り組みを行っていったらいいのかをあらためて問われている。東洋学園大学（東京都文京区）と文京学院大学（東京都文京区）の両理事長が、このほど、単位互換協定に基づいて、単位互換科目「経営学論」で特別講義が行われた。これから大学運営をめぐって、愛知太郎・学校法人東洋学園理事長と島田昌和・学校法人文京学院理事長から対話を聞いた。



愛知理事長（左）と島田理事長（右）

——大学の強みをさらに発揮する意識させる。心にある「強み」を、文京学院大学との単位互換の観点で、

愛知理事長 これまで

島田理事長 今回の東洋学園大学の単位互換のように、実利ある大学交流の場を積極的に設け、学生に提供すること、はそれに当たると考えます。双方の学生の教育効果を上げるために、両大学の教員・職員が知恵を出し合うこと、学生同士も交流を強く願っております。また、都心であるが故のキャンパスの狭さを逆手に取って、お互いの顔が

——大学の強みをさらに発揮する意識させる。心にある「強み」を、文京学院大学との単位互換の観点で、

愛知理事長 これまで

島田理事長 今回の東洋学園大学の単位互換のように、実利ある大学交流の場を積極的に設け、学生に提供すること、はそれに当たると考えます。双方の学生の教育効果を上げるために、両大学の教員・職員が知恵を出し合うこと、学生同士も交流を強く願っております。また、都心であるが故のキャンパスの狭さを逆手に取って、お互いの顔が